

# 機械工学科（旧機械・旧知材）

## 機械工学科の近況



工学研究科教授・機械工学科主任

金崎 順一

卒業生の皆様には益々ご健勝のことと拝察申し上げます。また、平素より本学科・専攻に格段のご支援をいただき、感謝申し上げます。

学生の入学ならびに卒業についてご報告いたします。令和2年4月には、機械工学科60名、機械物理系専攻前期博士課程（修士課程）39名の入学生を迎え、新年度をスタートいたしました。卒業生の進路状況につきましては、令和元年度末に49名が機械工学科を卒業、41名が前期博士課程を修了、さらに、令和2年9月に2名が機械工学科を卒業し、様々な分野の企業へと就職いたしました。

次に教員の異動についてご報告いたします。令和2年4月に、本学科の教育・研究に長年ご尽力された吉岡真弥准教授が他大学の教授としてご栄転されました。一方、増田勇人先生が講師として、藤本恵美子先生がクロスアポイントメントを利用した助教

として、熱プロセス工学分野にご着任されました。さらに、10月より、大森健史先生が流体工学分野の准教授に、高井飛鳥先生がクロスアポイントメントを利用して機械力学分野（工学部共通の機械工作室を兼務）の助教にご着任され、新しい教員体制にて日々の教育を推進しております。

昨年度末から続くコロナ禍は、本学の研究・教育活動に大きな影響を及ぼしております。今年度初めにはキャンパスへの入構が制限され、授業の開始が5月後半まで延期されました。現在も原則遠隔にて授業を実施しております。徐々に平穏さを取り戻しつつありますが、今後も教員・学生全員にて厳しい現状を乗り越えていく所存です。皆様には、本学科での研究・教育に対して、今後も倍旧のご懇情を賜りますと幸甚です。末筆ながら、皆様の益々のご活躍をお祈り申し上げます。